



---

# Adobe Technical Communication Suite インスト ールガイド



2020年7月11日

---

# 目次

<b>Adobe Technical Communication Suite のインストール</b> . . . . .	<b>1</b>
システム要件 . . . . .	1
コアハードウェアとオペレーティングシステム . . . . .	1
サポートされているソフトウェア . . . . .	2
サポートされている言語 . . . . .	2
出力の公開用にサポートされているブラウザ . . . . .	3
Adobe TCS を入手 . . . . .	3
Adobe TCS のインストール . . . . .	3
インストールの前提条件 . . . . .	3
電子ダウンロードファイルからインストールする . . . . .	4
サイレント展開 . . . . .	6
インストールおよびアンインストールに関する追加情報 . . . . .	6
<b>アドミンコンソールから TCS を展開 - VIP および ETLA 顧客管理者向け</b> . . . . .	<b>7</b>
用意された組織のアカウントをアドミンコンソールで入手する . . . . .	7
TCS 向けにパッケージをカスタマイズおよび作成する . . . . .	7
パッケージのダウンロード . . . . .	12
オブジェクトの配布 . . . . .	12
アドミンコンソールのその他の一般的なタスク . . . . .	12
ユーザーの追加または削除 . . . . .	12
パッケージの更新 . . . . .	14
<b>法律上の注意事項</b> . . . . .	<b>16</b>

---

# Adobe Technical Communication Suite のインストール

Adobe Technical Communication Suite (TCS) は、技術情報やトレーニングコンテンツをオーサリング、レビュー、管理およびパブリッシュするためのエンドツーエンドソリューションです。これを使用して、技術文書、ユーザー支援システム、ナレッジベース、シミュレーション、ソフトウェアデモおよびその他の情報を作成および管理できます。

この文書では、次の内容について説明します。

- Adobe TCS をインストールするには、最低限必要なシステム要件を満たしている必要があります。詳しくは、「[システム要件](#)」を参照してください。
- 最新バージョンを入手するための様々な手段については、「[Adobe TCS を入手](#)」を参照してください。
- DVD や電子ダウンロードからダウンロードしてインストールする方法については、「[Adobe TCS のインストール](#)」を参照してください。
- 一般的なインストールの問題に対する解決策については、「[インストールおよびアンインストールに関する追加情報](#)」を参照してください。
- Adobe アドミンコンソールを使用して TCS をインストールする方法については、「[Adobe アドミンコンソールから TCS を展開](#)」を参照してください。

## システム要件

Adobe TCS または Adobe TCS バンドルの個々の製品をインストールする前に、お使いのシステムが次の要件を満たしていることを確認してください。

- [コアハードウェアとオペレーティングシステム](#)
- [サポートされているソフトウェア](#)
- [サポートされている言語](#)
- [出力の公開用にサポートされているブラウザ](#)

### コアハードウェアとオペレーティングシステム

カテゴリー	Adobe TCS	Adobe FrameMaker	Adobe RoboHelp
プロセッサ	Core i5 またはそれより高速のプロセッサ		
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 10、8.1	Microsoft® Windows® 10	Microsoft® Windows® 10 または macOS 10.14.6 (またはそれ以上)
RAM	16 GB 以上	4 GB 以上	
ハードディスクの空き容量	128 GB 以上	64 GB 以上	

カテゴリー	Adobe TCS	Adobe FrameMaker	Adobe RoboHelp
アーキテクチャ (CPU およびオペレーティングシステム)	64 ビット		
追加のソフトウェア	JRE 8	JRE 8	-
サポートされる最大画面解像度	4K (3480 x 2160、8.3 メガピクセル、縦横比 16:9)		

**注意:** Microsoft® PowerPoint 2016、2013 または 2010 (Adobe Presenter をインストールする場合は必須)。

**重要:** 大文字と小文字が区別されるファイルシステムを使用するボリュームや、取り外し可能なフラッシュストレージデバイスへのインストールはサポートされていません。

### サポートされているソフトウェア

ソフトウェア	Adobe TCS	Adobe FrameMaker	Adobe RoboHelp
Microsoft Word	2013、2010 または Office 365 (Office 365 からダウンロードされたドキュメントのみ)		Microsoft® Word 2010 以上
Acrobat デスクトップアプリケーション	XI、Pro 2015、Pro (2017 リリース) または最新バージョン	XI、Pro (2017 リリース) または最新バージョン	-
Adobe Captivate	2019 以上	-	2019 以上
Microsoft SharePoint	2013 または Online	2013 または Online	Online
Adobe Presenter 11.1	○	-	-
Adobe Experience Manager	6.5、6.4、6.3	6.5、6.4、6.3	-
DITA-OT 3.x	はい	はい	-
Microsoft Azure DevOps Server	○	-	○
Windows/Mac 版 Git	○	-	○

### サポートされている言語

Adobe TCS およびすべてのバンドル製品は、次の言語で利用できます。

- ・ 英語
- ・ フランス語
- ・ ドイツ語

- 日本語

## 出力の公開用にサポートされているブラウザ

次のブラウザの最新バージョンがサポートされています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- Microsoft Internet Explorer 11（ベーシック認証）

## Adobe TCS を入手

Adobe TCS の最新バージョンを入手するには、[Adobe TCS ポータル](#)にアクセスしてください。要件に応じて、次の操作を実行できます。

- 短いフォームを入力して、[30 日間無償体験版をダウンロード](#)する。
- フォームを入力して、[非公開のデモ（無償）をリクエスト](#)する。
- アドビストアから最新バージョンを購入またはアップグレードする。最新バージョンは電子ダウンロードファイルで受け取ることが可能。
- [Adobe アドミンコンソールから展開](#)する。

## Adobe TCS のインストール

Adobe TCS のインストールプロセスは、購入または最新バージョンへのアップグレード中に選択した配布方法によって異なります。

### インストールの前提条件

Adobe TCS のインストール中に、特定のアプリケーションがシステムで実行されている場合、エラーダイアログが表示され、インストールが中断されます。したがって、インストールプロセスを開始する前に、競合するアプリケーションをすべて終了してください。

インストール前に終了する必要がある、競合するアプリケーションは以下のとおりです。

Adobe アプリケーション	Microsoft アプリケーション	オペレーティングシステムおよびその他のアプリケーション
Adobe FrameMaker	MS Excel	AutoCAD Map 3D
Adobe RoboHelp	MS Word	Netscape Navigator
Adobe Acrobat Pro	MS Outlook	
Adobe Reader	MS PowerPoint	
	MS Visual Studio	

Adobe アプリケーション	Microsoft アプリケーション	オペレーティングシステムおよびその他のアプリケーション
	MS Access	
	MS メモ帳	
	MS Project	
	文字コード表 (タスクマネージャから終了する)	

次に、選択した配布方法に応じて、適切なインストール手順を実行します。

- [電子ダウンロードファイルからインストールする](#)
- [サイレント展開](#)

## 電子ダウンロードファイルからインストールする

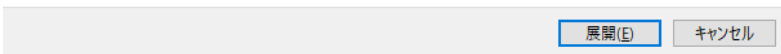
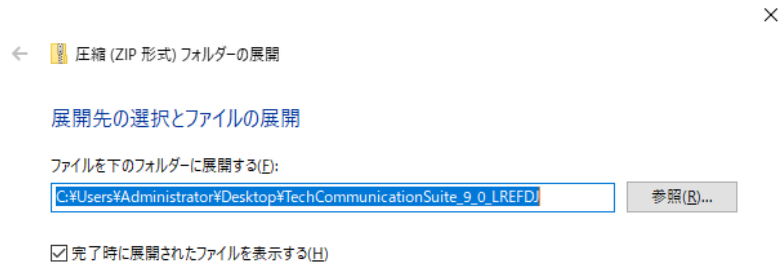
Adobe は、2 つの電子ダウンロードファイルを提供しています (TCS 体験版ダウンロードサイトからダウンロード可能)。

- **TechCommunicationSuite\_x\_0\_LREFDJ.zip**— 次を含む：
  - Adobe Presenter 11.1
  - Adobe TCS バンドル— 次を含む：
    - Adobe FrameMaker
    - Adobe RoboHelp
    - Adobe Captivate
    - Adobe Media Encoder
    - Adobe Acrobat Pro
  - Adobe TCS の readme ファイル (Adobe TCS バンドル用)
- **TechCommunicationSuite\_x\_0\_Content\_LREFDJ.zip**— 次を含む：
  - Adobe TCS アドオン
 

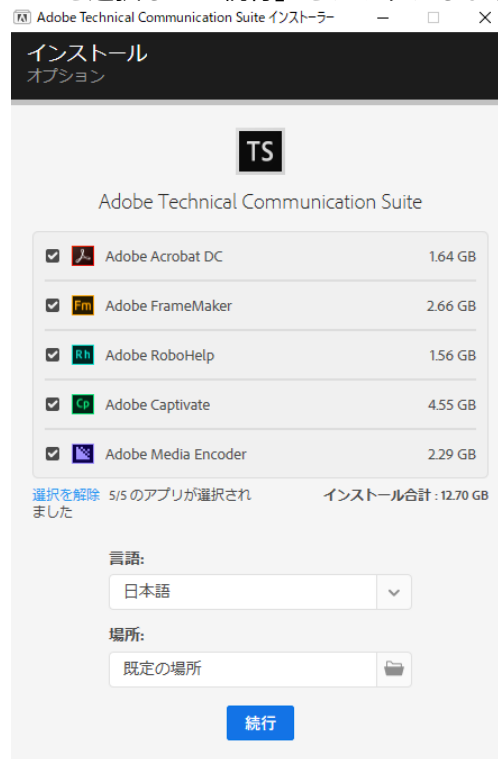
**注意：**サブスクリプションを提供する他の購入プログラムから購入したユーザーを含む、市販のサブスクリプションを使用するユーザーは、Adobe TCS アドオンを利用することはできません。
  - Adobe TCS の readme ファイル (Adobe TCS バンドルの各製品用)

電子ダウンロードファイルから Adobe TCS をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1) TechCommunicationSuite\_x\_0\_LREFDJ.zip ファイルを [TCS 体験版ダウンロード](#) サイトからダウンロードします。
- 2) インストールファイルをデフォルトのフォルダーパスに抽出するか、代わりにフォルダーパスを指定します。



- 3) Set-up.exe ファイルを含むフォルダーに移動します。
- 4) Set-up.exe をダブルクリックして実行します。
- 5) インストールするコンポーネントを選択して「続行」をクリックします。



- 6) インストールが完了するまで、インストールのプロンプトに従います。



## サイレント展開

管理者は、ESD ブートストラッパーで Set-up.exe をサイレントモードで実行し、Adobe TCS をインストール、アンインストール、または更新できます。次のコマンドライン構文を使用します。

**注意:** 引数は太字フォントで表示する必要があります。

- インストールする場合

```
Set-up.exe --silent=1
```

```
-installLanguage=<language_supported_by_TCS> -proxyUserName=<internet_proxy_username>  
-proxyPassword=<internet_proxy_password>
```

- アンインストールする場合

```
Set-up.exe --silent=1 -uninstall=1 -sapCode=FRMK -productPlatform=<platform_version>  
-codexVersion=<codex_version> -deleteUserPreferences=true  
-proxyUserName=<internet_proxy_username> -proxyPassword=<internet_proxy_password>
```

- 更新する場合

```
Set-up.exe --silent=1 -update=1 -sapCode=FRMK -productPlatform=<platform_version>  
-codexVersion=<codex_version> -installLanguage=<language_supported_by_TCS>  
-proxyUserName=<internet_proxy_username> -proxyPassword=<internet_proxy_password>
```

**注意:**

- productPlatform 引数で、win64 を指定します。
- codexVersion 引数で、TCS 2019 には 15.0.0 または TCS の最新リリースには 16.0.0 を指定します。
- installLanguage 引数で、英語には en\_EN、フランス語には fr\_FR、ドイツ語には ge\_GE、または日本語には jp\_JP を指定します。

デフォルトでは、ESD クライアントは進捗情報と終了コードをコンソールに返します。親スクリプトや自動化では、終了コードを使用して操作の成功を追跡できます。Exit Code = 0 は成功を意味し、その他の終了コードはエラーを示します。

**注意:** アンインストールおよび更新の場合、ESD クライアントは temp で自身のコピーを作成し、その場所からプロセスを実行します。ESD クライアントは temp 以外の場所に存在する親コンソールに接続できないため、進捗情報や終了コードは返しません。このため、親スクリプトまたは自動化では終了コードを追跡できないため、ログを使用します。

## インストールおよびアンインストールに関する追加情報

TCS または該当製品をインストールまたはアンインストールする場合は、次の点を考慮する必要があります。

- Adobe Captive をインストールする場合、Adobe Acrobat もインストールする必要があります。
- Adobe Presenter のサイレント展開は、Adobe アドミンコンソールから作成されたパッケージのみで動作します。Presenter をサイレントモードでインストールするには、次のコマンドを使用します。

```
msiexec.exe /i <packagename.msi> /quiet
```

packagename.msi を build フォルダーで作成されたパッケージファイル名に置き換えます。

- TCS または該当製品を手動でアンインストールする場合、Adobe Media Encoder を最後にアンインストールしないでください。

# アドミンコンソールから TCS を展開 - VIP および ETLA 顧客管理者向け

Adobe アドミンコンソールの組織向け管理者権限、および Adobe Technical Communications Suite (TCS) またはいずれかの該当製品のライセンスがある場合、アドミンコンソールからパッケージを作成およびダウンロードできます。その後、アドミンコンソールを使用してエンドユーザーを組織に割り当て、パッケージをユーザーに配布することができます。アドミンコンソールの使用方法について詳しくは、「[管理者ユーザーガイド](#)」を参照してください。

TCS パッケージを作成してエンドユーザーに配布するには、組織の管理者は次のタスクを行う必要があります。

- 1) [用意された組織のアカウントをアドミンコンソールで入手する](#)
- 2) [TCS 向けにパッケージをカスタマイズおよび作成する](#)
- 3) [パッケージのダウンロード](#)
- 4) [オブジェクトの配布](#)

この他に、アドミンコンソールで一般的なタスクを行うこともできます。

- ・ [ユーザーの追加または削除](#)
- ・ [パッケージの更新](#)

## 用意された組織のアカウントをアドミンコンソールで入手する

このタスクは、アドビのアカウントプロビジョニングおよびライセンスチームが行います。このタスクでは、アドミンコンソールで組織が作成されます。組織はアプリケーション数と各アプリケーション向けに購入したライセンス数で構成されます。また、管理者ユーザーアカウント（複数可）が組織向けに作成されます。管理者はパッケージを作成して、アプリケーションのアクセスを組織内のユーザーに付与することができます。

## TCS 向けにパッケージをカスタマイズおよび作成する

Adobe テンプレートは事前作成されたユーザー指定ライセンスパッケージで、アドミンコンソールの「パッケージ」タブからダウンロードできます。Adobe テンプレートは単一アプリパッケージ、またはアドビが作成したコレクションパッケージです。これらのパッケージはデフォルト設定に基づいて作成されます。

TCS の場合、各製品の事前設定済みのテンプレートをスイート内でご利用いただけます。組織が購入したライセンスに基づいて、1 つまたは複数のアプリケーション向けのテンプレートをスイートから入手できます。または、Technical Communication Suite 全体向けのテンプレートを入手できます。

**注意:** 組織が Adobe Creative Cloud 製品および TCS をセットアップしている場合、TCS パッケージには Creative Cloud デスクトップアプリとその他の TCS 製品が含まれます。Creative Cloud デスクトップアプリでは、Adobe Creative Cloud アプリをダウンロードおよびインストールできます。詳しくは、「[Creative Cloud デスクトップアプリのダウンロード](#)」を参照してください。

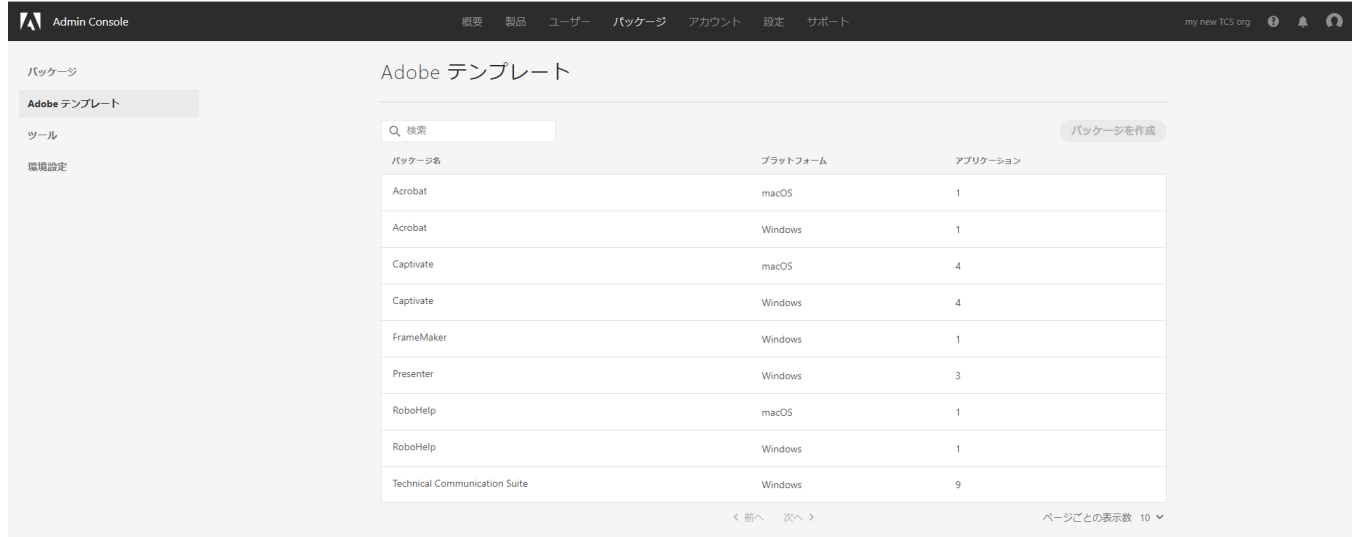
パッケージを作成およびカスタマイズするには、以下の手順を実行します。

- 1) ブラウザーを開き、[アドミンコンソール](#)にアクセスします。
- 2) Adobe ID とパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

- 3) 複数組織の管理者の場合は組織を選択します。  
 管理者は複数の組織に所属することができます。例えば、会社が複数の子会社を所有し、各子会社が個別のライセンス契約を持つ場合、またはライセンス契約に個別の組織が含まれる場合は、同じ管理者をすべてに割り当てることができます。
- 4) 「パッケージ」 > 「Adobe テンプレート」をクリックします。  
 組織が FrameMaker のライセンスのみを購入した場合、以下のように FrameMaker テンプレートのみを入手することができます。



組織が TCS のライセンスを購入した場合、すべての製品のテンプレートにスイート内でアクセスできます。



**重要：** Acrobat および Captivate のテンプレートは macOS バリエーションですが、TCS パッケージの作成時にこれらのテンプレートを選択しないでください。

事前設定済みのこれらのテンプレートには関連するアプリケーションが含まれています。例えば、Acrobat のパッケージには Acrobat アプリケーションが含まれています。テンプレートをクリックすると、パッケージの詳細が表示されます。

テンプレート画面のアプリケーション列は、パッケージに含まれているアプリケーション数を示しています。Captivate の場合、パッケージには 4 つのアプリケーション (Adobe Captivate、Adobe Captivate Assets、Adobe Captivate Voices、Media Encoder) が含まれています。同様に、Presenter パッケージには 3 つのアプリケーション (Adobe Presenter、Adobe Presenter Video Express、Media Encoder) が含まれています。

- 5) TCS パッケージをカスタマイズするには、Technical Communication Suite パッケージの任意の行をクリックします。

**注意：** 該当製品のパッケージを作成するには、ご希望のパッケージの任意の行をクリックします。Except Captivate および Presenter の場合、該当製品のパッケージで利用可能なカスタマイズはありません。パッケージをダウンロードして、エンドユーザーに配布してください。

Technical Communication Suite パッケージの詳細が表示されます。

**Technical Communication Suite** ×

ダウンロード カスタマイズ

**付属のアプリケーション**

- Acrobat DC (20.0)
- Adobe Captivate (11.5.1)
- Adobe Captivate Assets (11.0)
- Adobe Captivate Voices (11.0)
- Adobe FrameMaker (16.0)
- Adobe Presenter (11.1.5)
- Adobe Presenter Video Express 2017

**パッケージの詳細**

プラットフォーム Windows 64-bit

言語 英語 (北米) / OS ロケールを使用

オプション

- Remote Update Manager を有効化
- AUSST オーバーライド XML を含まない

- 6) 「カスタマイズ」をクリックします。
- 7) **\*\*string not required\*\*** 設定画面に「OS ロケールを使用」オプションが表示されます。  
「OS ロケールを使用」オプションを選択し、クライアントマシンの OS 言語で展開するパッケージを作成します。TCS は 4 つの言語（英語、フランス語、ドイツ語、日本語）で利用できます。ご利用のシステムでその他の言語でインストールを試みると、英語にフォールバックします。
- 8) 「次へ」をクリックします。

**\*\*string not required\*\*** アプリを選択 画面が表示されます。

**Technical Communication Suite パッケージをカスタマイズ**

構成    アプリを選択    オプション    確定

●    ●    ○    ○

**使用可能なアプリケーション (0)**







以前のバージョンを表示

🔍 検索 + すべて追加

**選択されたアプリケーション (9)**

以下のアプリケーションを含むパッケージが作成されます。

🔍 検索 × すべて削除

	Adobe FrameMaker (16.0)	(i) ×
	Media Encoder (14.3.1)	(i) ×
	Adobe Captivate Assets (11.0)	×
	Adobe Captivate Voices (11.0)	×
	Adobe Captivate (11.5.1)	(i) ×
	Adobe Presenter Video Express 2017 (12.0.2)	(i) ×

前へ
キャンセル
次へ

デフォルトでは、TCS のすべてのアプリケーションが選択されています。クロス (X) アイコンをクリックすると、パッケージに含めたくないアプリケーションを削除できます。

**重要：** TCS パッケージに含まれている Adobe Media Encoder の最新バージョンは、Microsoft Windows 10 (64 ビット) バージョン 1703 以上でサポートされています。旧バージョンの Windows 向けにパッケージを作成するには、パッケージから Adobe Media Encoder を除外します。Media Encoder は個別にインストールする必要があります。

次のスクリーンショットは、パッケージ内に含まれる FrameMaker、RoboHelp、Acrobat のみを示しています。

**Technical Communication Suite パッケージをカスタマイズ**

構成    アプリを選択    オプション    確定

**使用可能なアプリケーション (6)**

以前のバージョンを表示

検索    + すべて追加

- Adobe Presenter Video Express 2017 (12.0.2)    ⓘ +
- Adobe Captivate (11.5.1)    ⓘ +
- Adobe Presenter (11.1.5)    ⓘ +
- Adobe Captivate Assets (11.0)    +
- Adobe Captivate Voices (11.0)    +
- Media Encoder (14.3.1)    ⓘ +

**選択されたアプリケーション (3)**

以下のアプリケーションを含むパッケージが作成されます。

検索    × すべて削除

- Adobe RoboHelp (2020.0)    ⓘ ×
- Acrobat DC (20.0)    ⓘ ×
- Adobe FrameMaker (16.0)    ⓘ ×

前へ    キャンセル    次へ

- 9) 「次へ」をクリックします。
- 10) **\*\*string not required\*\*** オプション画面で、「Remote Update Manager を有効にする」オプションを選択または選択解除することができます。  
「Remote Update Manager を有効にする」オプションは、Remote Update Manager の使用を有効にします。Adobe Remote Update Manager を使用すると、クライアントでアップデーターを遠隔実行することができ、管理者はそのメリットを活用できます。詳しくは、「[Remote Update Manager](#)」を参照してください。
- 11) 「次へ」をクリックします。
- 12) **\*\*string not required\*\*** 終了画面でパッケージの名前を入力し、「パッケージを構築」をクリックします。  
パッケージを構築する前に、このパッケージに追加したアプリケーションと構成を見直すこともできます。

パッケージの構築プロセスが開始し、パッケージ画面が表示されます。

パッケージ名	プラットフォーム	アプリケーション	言語	作成者	作成日	状態	ダウンロード
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	3	日本語	gaurav tewari	2020/07/09	ビルド中 (55%)	×
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	3	英語 (北米)	gaurav tewari	2020/07/09	最新	入手可能
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	9	ドイツ語	gaurav tewari	2020/07/09	ビルド中 (75%)	×
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	9	英語 (北米)	Artee Shekhawat	2020/07/09	最新ではありません	入手可能
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	9	英語 (北米)	Artee Shekhawat	2020/06/23	最新ではありません	期限切れ
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	1	英語 (北米)	g t	2020/06/09	最新ではありません	期限切れ
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	2	英語 (北米)	g t	2020/05/28	最新	期限切れ
Technical Communicati...	Windows (64-bit)	1	英語 (北米)	g t	2020/03/25	最新	期限切れ
15th Oct TCS	Windows (64-bit)	4	英語 (北米)	g t	2019/10/15	最新ではありません	期限切れ

**重要：** デフォルトにより、パッケージは作成日から 3 日間ダウンロードすることができます。これ以降はパッケージの期限が切れるため、ダウンロードリンクも利用できなくなります。

## パッケージのダウンロード

パッケージの構築プロセスを無事に完了すると、パッケージがパッケージ画面にリストされます。パッケージをダウンロードするには次の手順を実行します。

- 1) **\*\*string not required\*\*** パッケージ画面にアクセスします。
- 2) ダウンロードしたいパッケージのダウンロードリンクをクリックします。
- 3) ご利用のローカルシステムに zip ファイルパッケージを保存します。

## オブジェクトの配布

パッケージをダウンロードした後、アドビ製品の使用資格を持つユーザーにパッケージファイルを共有できます。ネットワークの場所でファイルを共有したり、携帯 USB ストレージデバイスで共有したりできます。組織が SCCM サーバーを使用している場合、SCCM サーバーでパッケージを展開して配布します。詳しくは、「[SCCM によるアドビパッケージのデプロイ](#)」を参照してください。

## アドミンコンソールのその他の一般的なタスク

製品パッケージを作成および配布するほかに、次のタスクを定期的に行う必要があります。

### ユーザーの追加または削除

製品管理者には、組織の 1 つまたは複数の製品に対して管理権限が割り当てられています。割り当てられた製品にユーザーおよびグループを割り当てることができます。任意で、これらのユーザーに役割を割り当てることが

できます。また、製品プロファイルを作成して、製品プロファイル管理者を作成した役割に割り当てることもできます。詳しくは、「[製品およびプロファイルの管理](#)」を参照してください。

製品にユーザーを追加する次の手順を実行します。

- 1) [アドミンコンソール](#)にログインします。
- 2) 製品の **概要** 画面の Adobe Technical Communication Suite タイルで「ユーザーを追加」をクリックします。





- 3) **\*\*string not required\*\*** Adobe Technical Communication Suite にユーザーを追加 画面 d え、ユーザーの名前または電子メールを入力し、表示されるドロップダウンリストからユーザーを選択します。

- 4) 現在の製品のプロファイルを選択し、「保存」をクリックします。  
**注意:** デフォルトにより、Default Adobe Technical Communication Suite Configuration という名前のプロファイルが TCS で利用できます。  
 更新されたユーザーのリストが表示され、ユーザーに通知メールが送信されます。

製品からユーザーを削除する次の手順を実行します。

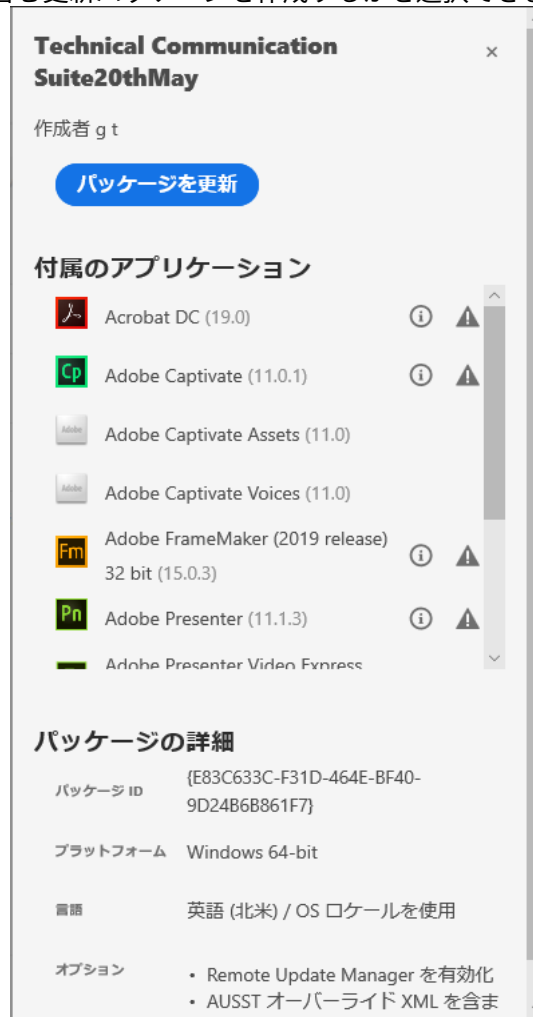
- 1) アドミンコンソールで製品を管理する際に、「ユーザー」にアクセスします。
- 2) ユーザー名の左側にあるチェックボックスを選択し、「ユーザーを削除」をクリックします。
- 3) 確認ダイアログボックスで「ユーザーを削除」をクリックします。

## パッケージの更新

パッケージ内のアプリケーションが旧バージョンの場合（新しいバージョンがリリースされている）、次を含む更新パッケージを作成するように選択できます。

- ・ 古いアプリケーションのすべての最新バージョン
- ・ すべての更新済みアプリケーションと古いアプリケーションの最新バージョン

例えば、次のパッケージを更新する場合、すべてのアプリケーションを含む更新パッケージを作成するか、Adobe Captivate (11.0.1) のみを含む更新パッケージを作成するかを選択できます。



**Technical Communication Suite20thMay** ×

作成者 g t

[パッケージを更新](#)

**付属のアプリケーション**

- Acrobat DC (19.0) ⓘ ⚠
- Adobe Captivate (11.0.1) ⓘ ⚠
- Adobe Captivate Assets (11.0)
- Adobe Captivate Voices (11.0)
- Adobe FrameMaker (2019 release) ⓘ ⚠  
32 bit (15.0.3)
- Adobe Presenter (11.1.3) ⓘ ⚠
- Adobe Presenter Video Express

**パッケージの詳細**

パッケージ ID {E83C633C-F31D-464E-BF40-9D24B6B861F7}

プラットフォーム Windows 64-bit

言語 英語 (北米) / OS ロケールを使用

オプション

- Remote Update Manager を有効化
- AUSST オーバーライド XML を含ま

パッケージの更新について詳しくは、「[パッケージの更新](#)」を参照してください。

## 法律上の注意事項

法律上の注意事項については、[法律上の注意事項](#)ページを参照してください。